

# 人権週間

国際連合は、1948年（昭和23年）12月10日の第3回総会において、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、世界人権宣言を採択したのに続き、1950年（昭和25年）12月4日の第5回総会においては、世界人権宣言が採択された日である12月10日を「人権デー」と定め、全ての加盟国及び関係機関が、この日を祝賀する日として、人権活動を推進するための諸行事を行うよう、要請する決議を採択しました。

我が国においては、法務省と全国人権擁護委員連合会が、同宣言が採択されたことを記念して、1949年（昭和24年）から毎年12月10日を最終日とする1週間（12月4日から同月10日まで）を、「人権週間」と定めています。

築上町では、一人ひとりがかけがえの無い大切な存在であることを、トークショー形式でお伝えする第71回人権週間講演会を開催します。皆様の参加をお待ちしています。

## プロフィール

氏名 鈴木 徹（すずき とおる）

所属 SMBC日興証券（株）

生年月日 1980年5月4日（39歳）



記録 走り高跳び 2m02=アジア、日本記録

障害 下腿切断（T64クラス）

形態 179cm/60kg

出身 山梨県（岩手小→山梨北中→駿台甲府高→筑波大→筑波大学大学院）

指導 福間 博樹 先生

意義 足 チーター／リフレックス

中学、高校時代とハンドボール部に所属し、駿台甲府高校在学中に山梨県代表選手として国体で3位入賞。その後、筑波大学体育専門学群に推薦入学が決まるが、卒業直前に自らが運転していた車で交通事故を起こし、右足膝下11センチを残して切断。

大学を1年間休学し、義足のリハビリのため東京身体障害者福祉センターに入所。義肢装具士の臼井氏との出会いやリハビリがきっかけとなり、走り高跳びを始める。陸上競技を開始してから3ヶ月で、シドニーパラリンピックの大会参加基準である1m73cmを越え、日本人初の走り高跳び選手として出場を果たす。シドニー、アテネ、北京、ロンドンパラリンピックに出場し、4大会連続入賞。2005年のパラリンピックW杯、オープンヨーロッパ選手権では銀メダルを獲得。

2006年のジャパンパラリンピックでは、2m00をクリアし義足選手としては世界で2人目となる2mジャンパーとなった。2007年のIWAS世界大会では金メダルを獲得し、2015年には9年ぶりに2m01の自己新記録、2016年には2m02のアジア新記録を樹立した。

リオパラリンピック大会にて、5大会連続出場を果たし、2017年の世界パラ選手権では、銅メダルを獲得した。これまでの体験談を基に講演活動も行っている。

## 生涯学習課長からのメッセージ♪

生涯学習課では、誰もがスポーツを体験・実施できる場づくりや、スポーツを通して輝くことができる場づくりを目的に、平成28年度から障がい者スポーツ普及の取り組みを行なっています。

しかし、このような取り組みを行っている自治体は、県内でも決して多くないのが現状です。本町では、障がいの有無にとらわれることなく、スポーツを通して、障がい者と健常者の共生社会を目指しています。「スポーツ」だからこそできる役割や共生社会実現への可能性は十分あるのではないかでしょうか。

今回の人権講演会では、パラリンピアンである鈴木選手のアスリート人生の話や日常で感じる人権問題について様々な視点からお話をいただきます。皆さんと一緒に社会に存在する人権問題について、考える時間になればと思います。

## プロフィール

氏名 小手川 郁人  
(こてがわ いくと)



所属 福岡市立障がい者スポーツセンター 館長

資格

日本障害者スポーツ協会公認上級指導員  
日本陸上競技連盟A級公認審判員  
日本障害者スポーツ協会公認スポーツコーチ

役職

九州パラ陸上競技協会 理事長  
日本障がい者体育・スポーツ研究会 理事

出身 宮崎県

福岡大学体育学部卒業後、福岡市児童相談所の指導員として勤務し、障がい者スポーツに関心を持ち、1984年4月から福岡市立障がい者スポーツセンターに勤務する。

障がい者スポーツの指導員として資格を持ち、多くの国際大会にコーチや監督として帯同している。

2016年リオデジャネイロパラリンピック大会では、NHKの解説者として障がい者スポーツについて視聴者へ分かりやすく伝えるなど幅広く活躍している。



**【築上町文化会館コマーレ住所】**  
**福岡県築上郡築上町大字椎田962-8**  
**TEL:0930-56-1777**